

2025年2月21日

各 位

会 社 名 東海リース株式会社
 代表者名 代表取締役社長 塚本 博亮
 (コード: 9761、東証スタンダード)
 問合せ先 取締役管理本部長 大西 泰史
 (TEL. 06-6352-0001)

(訂正)「2022年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2021年10月29日に発表した表記開示資料について訂正がありましたのでお知らせします。

記

1. 訂正の理由

当社が本日2025年2月21日に別途公表しております「四半期連結財務諸表に対して公認会計士等による期中レビューを受けた2025年3月期第3四半期決算短信の開示が四半期末後45日を超えることに関するお知らせ」にてお知らせしている内容に基づいて、「2022年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」におきまして記載内容の一部に誤りがありましたので、提出済みの決算短信の訂正を行うものであります。

2. 訂正の内容

訂正の箇所には下線を付して表示しております。

【訂正前】

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	8,612	5.8	461	3.3	457	2.6	364	42.1
2021年3月期第2四半期	8,139	21.0	446	410.0	446	363.8	256	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 434百万円 (97.5%) 2021年3月期第2四半期 220百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	105.60	—
2021年3月期第2四半期	74.47	—

【訂正後】

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	8,612	5.8	461	3.3	457	2.6	249	△2.5
2021年3月期第2四半期	8,139	21.0	446	410.0	446	363.8	256	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 400百万円 (81.7%) 2021年3月期第2四半期 220百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	72.44	—
2021年3月期第2四半期	74.47	—

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

【訂正前】

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の普及が進み、感染者数も減少しつつありますが、企業活動の活動制限が長期化し、先行きが依然として不透明な状況が続いております。

仮設建物リース業界におきましては、民間需要において設備投資に対する慎重姿勢が見られるなど、予断を許さない状況にあります。

このような状況のなか、当社グループは一層のお得意先様満足を獲得すべく安全衛生管理の徹底を図るとともに、外注工事のリース商品化を継続推進しております。

以上の結果、売上高は8,612百万円（前年同四半期比5.8%増）となりました。損益面につきましては、営業利益は461百万円（前年同四半期比3.3%増）、経常利益は457百万円（前年同四半期比2.6%増）、特別利益に連結子会社である榕東活動房股份有限公司（中国福建省福州市）の有償減資に伴う為替差益など114百万円、そして法人税等197百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は364百万円（前年同四半期比42.1%増）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。詳細に関してはP.7（3）四半期連結財務諸表に関する注記（会計方針の変更）に記載しております。

また、当社グループは従来「日本」および「中国」の2つを報告セグメントとしてまいりましたが、当連結会計年度より「仮設建物リース業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、中国国内でのリース事業の撤退に伴い、「中国」の量的な重要性が乏しくなったためこれらを統合しました。この変更により、セグメント情報の記載を省略しております。

【訂正後】

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の普及が進み、感染者数も減少しつつありますが、企業活動の活動制限が長期化し、先行きが依然として不透明な状況が続いております。

仮設建物リース業界におきましては、民間需要において設備投資に対する慎重姿勢が見られるなど、予断を許さない状況にあります。

このような状況のなか、当社グループは一層のお得意先様満足を獲得すべく安全衛生管理の徹底を図るとともに、外注工事のリース商品化を継続推進しております。

以上の結果、売上高は8,612百万円（前年同四半期比5.8%増）となりました。損益面につきましては、営業利益は461百万円（前年同四半期比3.3%増）、経常利益は457百万円（前年同四半期比2.6%増）、そして法人税等197百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は249百万円（前年同四半期比2.5%減）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。詳細に関してはP.7（3）四半期連結財務諸表に関する注記（会計方針の変更）に記載しております。

また、当社グループは従来「日本」および「中国」の2つを報告セグメントとしてまいりましたが、当連結会計年度より「仮設建物リース業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、中国国内でのリース事業の撤退に伴い、「中国」の量的な重要性が乏しくなったためこれらを統合しました。この変更により、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

【訂正前】

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末より3,629百万円減少し、32,959百万円となりました。理由の主なものは受取手形及び売掛金の減少5,580百万円であります。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末より3,751百万円減少し、17,413百万円となりました。理由の主なものは前受リース収益の減少4,792百万円であります。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末より121百万円増加し、15,545百万円となりました。理由の主なものは利益剰余金の増加186百万円であります。

【訂正後】

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末より3,629百万円減少し、32,959百万円となりました。理由の主なものは受取手形及び売掛金の減少5,580百万円であります。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末より3,751百万円減少し、17,413百万円となりました。理由の主なものは前受リース収益の減少4,792百万円であります。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末より121百万円増加し、15,545百万円となりました。理由の主なものは為替換算調整勘定の増加138百万円であります。

2. 四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

【訂正前】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,032,668	8,032,668
資本剰余金	5,732,361	5,731,230
利益剰余金	1,329,109	<u>1,515,904</u>
自己株式	△83,915	△73,354
株主資本合計	15,010,224	<u>15,206,448</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,083	61,434
為替換算調整勘定	72,693	<u>97,258</u>
退職給付に係る調整累計額	57,982	47,284
その他の包括利益累計額合計	185,759	<u>205,978</u>
非支配株主持分	227,767	133,320
純資産合計	15,423,751	15,545,747
負債純資産合計	36,588,973	32,959,169

【訂正後】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,032,668	8,032,668
資本剰余金	5,732,361	5,731,230
利益剰余金	1,329,109	<u>1,401,575</u>
自己株式	△83,915	△73,354
株主資本合計	15,010,224	<u>15,092,120</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,083	61,434
為替換算調整勘定	72,693	<u>211,586</u>
退職給付に係る調整累計額	57,982	47,284
その他の包括利益累計額合計	185,759	<u>320,306</u>
非支配株主持分	227,767	133,320
純資産合計	15,423,751	15,545,747
負債純資産合計	36,588,973	32,959,169

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

【訂正前】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	-	15
為替差益	-	114,328
特別利益合計	-	114,344
特別損失		
固定資産除却損	6,549	4,010
固定資産売却損	9,874	80
投資有価証券評価損	10,398	-
災害による損失	-	3,204
特別損失合計	26,822	7,295
税金等調整前四半期純利益	419,350	564,622
法人税、住民税及び事業税	136,774	168,213
法人税等調整額	24,459	29,188
法人税等合計	161,233	197,401
四半期純利益	258,116	367,220
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,808	3,112
親会社株主に帰属する四半期純利益	256,308	364,108

【訂正後】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	-	15
特別利益合計	-	15
特別損失		
固定資産除却損	6,549	4,010
固定資産売却損	9,874	80
投資有価証券評価損	10,398	-
災害による損失	-	3,204
特別損失合計	26,822	7,295
税金等調整前四半期純利益	419,350	450,294
法人税、住民税及び事業税	136,774	168,213
法人税等調整額	24,459	29,188
法人税等合計	161,233	197,401
四半期純利益	258,116	252,892
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,808	3,112
親会社株主に帰属する四半期純利益	256,308	249,779

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

【訂正前】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	258,116	367,220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,387	6,350
為替換算調整勘定	△55,701	72,067
退職給付に係る調整額	△601	△10,697
その他の包括利益合計	△37,914	67,721
四半期包括利益	220,202	434,942
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	223,078	384,327
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,875	50,615

【訂正後】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	258,116	252,892
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,387	6,350
為替換算調整勘定	△55,701	151,484
退職給付に係る調整額	△601	△10,697
その他の包括利益合計	△37,914	147,137
四半期包括利益	220,202	400,029
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	223,078	384,327
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,875	15,702